

舞空キャンパス「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ ～次世代における学生の在り方を創る～

舞空キャンパス 2021.12.20



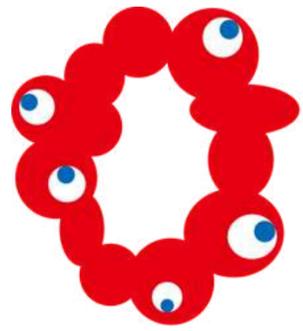
現状) 2025年大阪万博開催に向けて
舞空キャンパスのみんなで何が出来るか考えてほしい



抱える課題)

まだこれから中身をみんなで作っていくもので
現状の内容を精査している段階





OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

与件の整理

現状) 2025年大阪万博開催に向けて
舞空キャンパスのみなんで何が出来るか考えてほしい



抱える課題)

まだこれから中身をみなんで創っていくもので
現状の内容を精査している段階



舞空キャンパスの目標確認

- ①各学生団体との連携をし、人材交流を通じて早い段階で社会の問題に触れる
- ②それを解決できるアイデアを生み出す教育を提供
- ③次世代を背負う人材になり、継続できる日本を創る



このレベルに達しないと社会の力になれない
という基準値を見せることが大切。





【結論：共創プロジェクト】

**17のSDGs課題を抜本から
見直せる人材の教育を施す**

MISSION

舞空キャンパスで学生パートナーシップを結び、
全国の学生1万人を統べるプラットフォームを構築。



舞空キャンパスについて

OUR CONCEPT



スキルを身に付ける

ONLINE CAMPUS



運営/提携メンバー

MEMBER / GROUP



お知らせ / SNS / ブログ

SNS & BLOG



イベント / 合宿企画

EVENT PLANNING

① 舞洲を全国学生たちの拠点にする

② 企業や官公庁と連携しその他共創
チャレンジに学生たちがアイデアを
もって下支えをする

(なぜこのチャレンジを提案するのか) ターゲットZ世代の価値観を知る

デジタルは生活の一部であり、新しい機能やデバイスにもすぐに順応していきます。
人とつながること、面白いと思ったことや感動を共有することを大切にします。

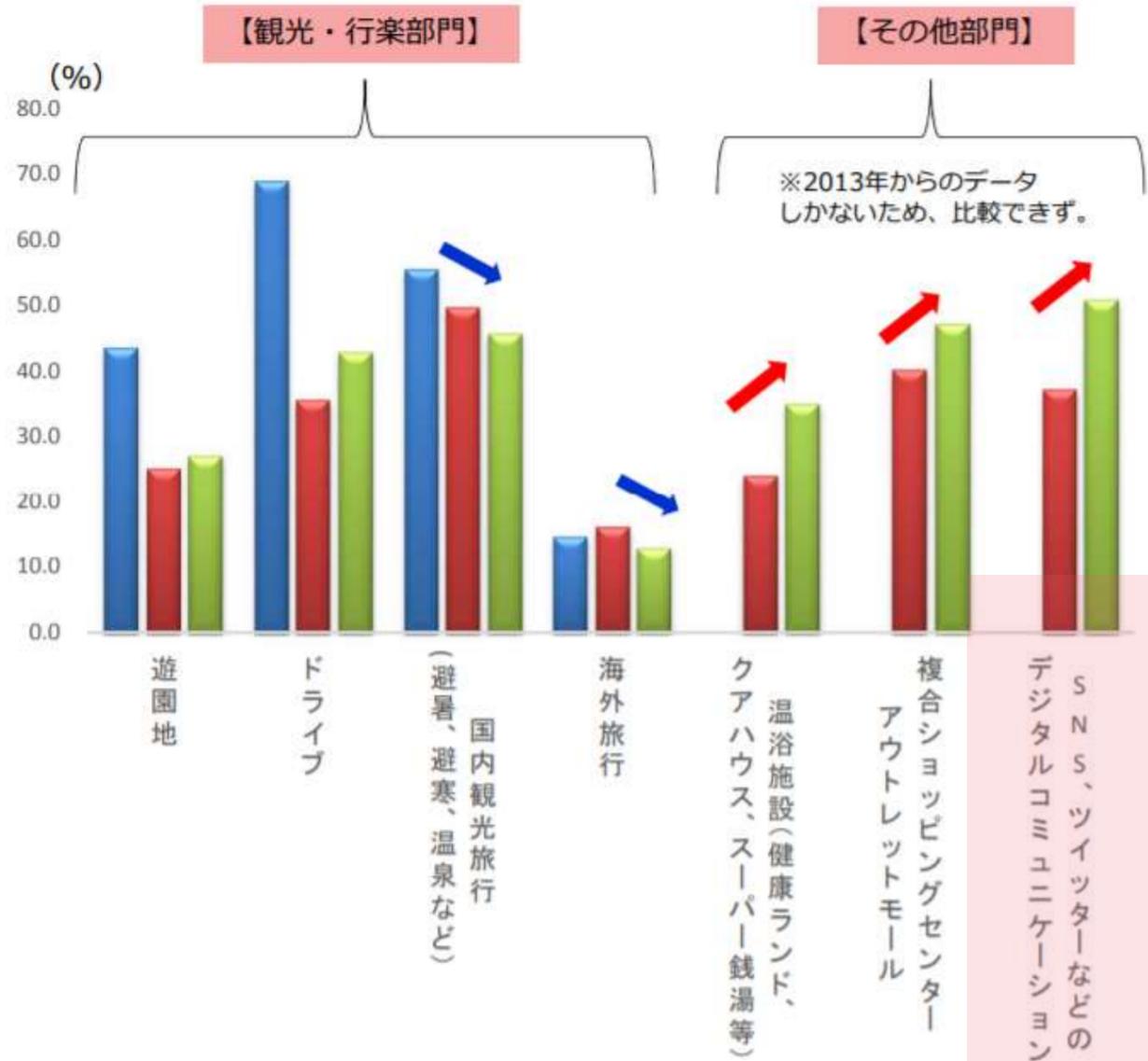
経済面では基本的に保守的で、現実の生活を重視するリアリスト、
デジタル技術の進化とそれに伴う新たなアイデアやサービスの登場は時代を大きく変え、Z世代はそれらを使いこなすトレンドの発信源として、消費に影響を与える。多様性を当たり前のこととして受け入れており、自分らしさを尊重する傾向が強いのはそのためだと考えられます。
一方で所有することに強いこだわりがなく、「モノ消費」よりも体験を重視する「コト消費」に関心を持つこと、Z世代はリアルとオンラインを区別せず、両者を自然に取り入れていることに注目するべきでしょう。

(講談社SDGs by C-station記事より抜粋)

地域経済創生の鍵 観光に対しての若者旅行の現状

20代の余暇活動への参加率

※参加率…ある余暇活動を、1年間に1回以上おこなった人の割合。

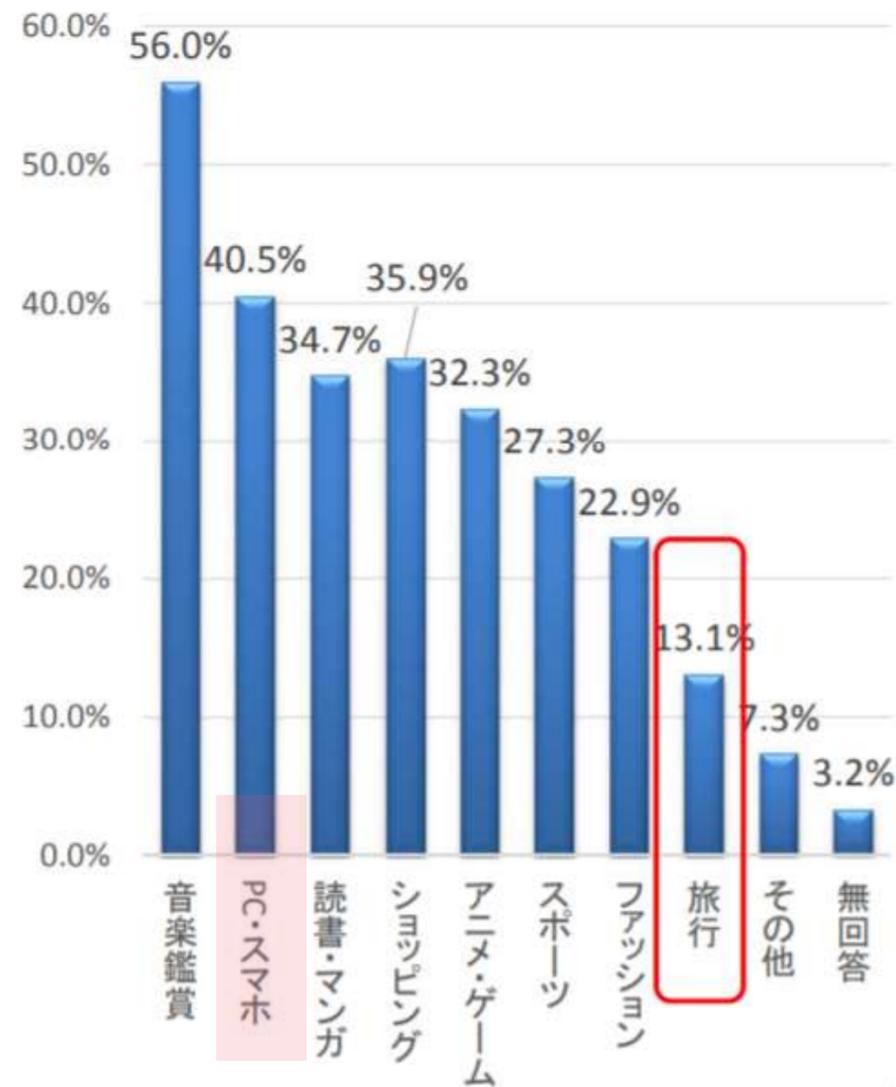


出典：レジャー白書（公益財団法人 日本生産性本部）より作成

若者の趣味

※アンケート対象者…H27年度若旅授業受講者 1,333名(9校)

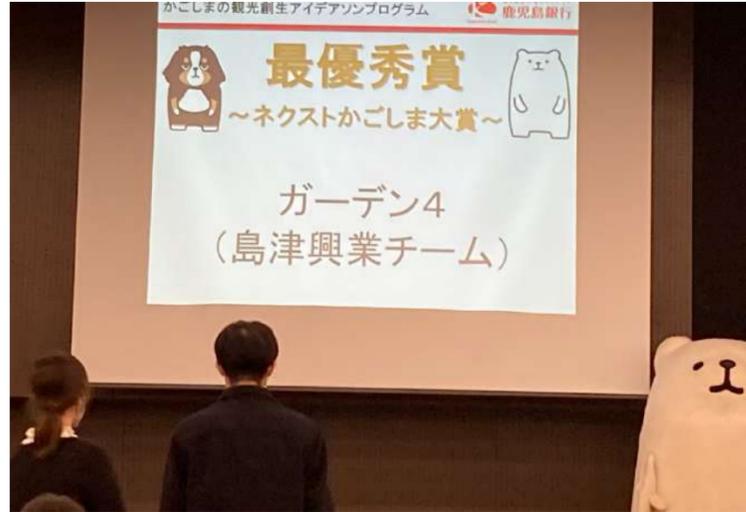
※複数回答可



11

地域観光が属する「旅行」のニーズは少ないため、若年層の取り込みはそれ以上の興味関心事とのコンテンツの融合が求められる。 例) PC・SNS・スマホ・スポーツなど

【舞空キャンパス関係学生実績】



鹿児島銀行
未来創造アイデアソンコンペ
最優秀賞



ガーデンフラワーアート展2022
100万円企業協賛獲得



指宿市商業高等学校
観光PR動画・その他
全国観校サミット 3位
県観光連盟サイト掲載/その他メディア



総フォロワー数70万人JKインフルエンサー
りりりちゃんとのタイアップ



アクティブユーザー7000万人 文字型SNS『note』
SDGsクリエイターランキング1位